

備前市 事務事業評価表

事務事業名	災害対応型自動販売機設置事業	コード	01-04-02-06
		担当課・係	総務課消防防災係
事業実施期間	平成18年度	担当者	中島 和久
		電話	64-1809
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目(基本施策)	安全で安心して暮らせるまちづくり	
	小項目(施策)	消防・防災(消防・防災施設の整備)	

事業について	
目的 (何のために)	災害時での情報伝達、飲料水の確保を行うため。
対象 (誰・何を対象に)	災害対応型自動販売機を設置している周辺の住民
内容	災害時において、市内24箇所に設置している災害対応型自動販売機のメッセージボードを利用した迅速な情報伝達や断水等で飲料水が使用できなくなった場合に、災害対応型自動販売機内にある飲料水を無料提供

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	19年度 回数など (単位)
設置台数		24 台	
事業費 (単位：千円)	事業費 直接事業費 人件費 合計	財源 国庫補助金等 受益者負担 市債 一般財源等	事業費 直接事業費 人件費 合計
必要人員	0	0.20	0

結果指標	結果指標名	設置台数	
	結果指標量	24	
	単位	台	
結果指標	対前年比	—	0.00%
	活動にかかるコスト	円	1,542,000
	単位当たりコスト	円	64,250

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか			
成果指標名	式又は説明		
成果指標量	17年度	18年度	19年度
対前年比	—		
到達目標値		到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等	妥当性評価<A~E> B
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	災害時での情報伝達、飲料水の確保の観点から、コココーラ・ウエストジャパン(株)との協定締結は妥当である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E> B
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	災害対応型自動販売機の設置費用、メッセージボード管理費用、電気代相当費用については、すべてコココーラ・ウエストジャパン(株)が負担するため、市の負担はない。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	有効性の判断は特に見当たらない。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	説明
目録値	結果指標量	結果指標量	

総合評価	災害対応型自動販売機に搭載しているメッセージボードを利用して、市民へ防災情報を伝えることができるようになり、情報伝達の一つの方法として有効である。また、災害時には同販売機内の飲料水を無料提供できることから、断水時などに飲料水の確保ができる。	評価区分<A~E> B
------	--	-------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	--	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果